

愛知サークル7月例会報告

2019年7月21日（日）名東小学校 参加：5名

コンセプト：夏の公開に向けて

① 夏の公開に向けて、役割分担の確認を行った。

② 追求Ⅰ 文学教材の追求

[3・4年「ぼくの犬ころ」]

- ・大問題があって、その答えを予想する→分類する→対立する→学級課題の解決へといった授業の流れが、なかなかできない。
- ・言葉の意味を理解するには、例文を作るのがよい。
- ・発言の中で、教師の都合のいい発言だけを板書している。板書の仕方が、課題である。
- ・教材文を黒板以外のところに貼ると、黒板が全部使える。

③ 「追求Ⅱ」

<音読>「大きなかぶ」

- ・「とてつもなく」を、もっと楽しんでやるとよい。

<総合表現>「おむすびころりん」

- ・演出が大事である。
- ・ねずみは、ただ驚くのか。ねずみの心情を考えるとよい。おむすび一つ目、二つ目、三つ目で対応を変化させると面白いのではないか。
- ・次の動作に行くための準備を考えた動きをするとよい。

○追求Ⅰでは、追求のパターンがあるにもかかわらずなかなかその流れに乗って授業を進めることができないという課題がある。

○追求Ⅱでは、教師の追求Ⅰの力があってこそ、子どもの力を引き出し伸びやかな表現ができるのではないかと思った。参加者が少なかったため、一週間延期して開いた例会だったが、5人参加できたことはよかった。月1回の例会は、大事であることを確認した。